

対 策 の 内 容		エレベータの夜間間引き運転	
㊤ 運用対策 B 設備導入等対策	区分番号	1402、3811	
	小分類	昇降機	
現 状	エレベータ 12 基を有する病院において、夜間面会時間後は来院者が少なく、エレベータは待機状態が多い。		
対 策 内 容	● 利用頻度の少ない夜間は、複数台設置のエレベータバンクでは間引き運転を実施し、エレベータ待機電力の低減を図る。		
計 算 の 前 提 条 件	①エレベータ待機消費電力:200 W/基 ②間引き台数:6 基(間引き率 50%) ③間引き運転実施時間:21:00~7:00(10 h/日) ④運転日数:365 日/年 ⑤電力料金:17.2 円/kWh ⑥排出係数:0.475 t-CO <sub>2</sub> /千 kWh		
地 球 温 暖 化 対 策 効 果	[削減エネルギー量] $200 \text{ W/基} \times 6 \text{ 基} \times 10 \text{ h/日} \times 365 \text{ 日/年} = \underline{4.4 \text{ 千 kWh/年}}$ [削減金額] $4.4 \text{ 千 kWh/年} \times 17.2 \text{ 円/kWh} = \underline{75.7 \text{ 千円/年}}$ [削減 CO <sub>2</sub> 量] $4.4 \text{ 千 kWh/年} \times 0.475 \text{ t-CO}_2/\text{千 kWh} = \underline{2.1 \text{ t-CO}_2/\text{年}}$		